

2025年3月
開催前報告書

持続可能な 大阪・関西万博開催に むけた行動計画



持続可能な大阪・関西万博開催にむけた 行動計画について

2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに持続可能な万博運営の実現を目指す。大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」について考え、行動すること、そして2030年をゴールとする持続可能な開発目標(SDGs)への取組は、世界共通の課題の解決を目指すものであり、万博を開催する意義である。

大阪・関西万博の事務局である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」という。）は、持続可能な万博開催に必要な事業とその方針を示す「2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）基本計画」（以下「基本計画」という。）を2020年12月に策定した。基本計画では、大阪・関西万博はその運営においてもSDGs達成を実現するため、環境や社会への影響を適切に管理し、持続可能な万博の運営を目指すこととしている。

大阪・関西万博は開催の準備から運営、終結まで長い期間があること、大規模なイベントであり、様々なステークホルダーと直接的・間接的に関わることから、長期間かつ広範囲において、環境・社会・経済等に影響を及ぼすことが想定される。ステークホルダーとの繋がりを通じて、多くの人々の行動変容を起こすことができるのは、万博のようなイベントが持つ「力」であり、この「力」を正しく理解し、その影響力を行使することは博覧会協会の責務である。

「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」（以下「行動計画」という。）は、博覧会協会が大阪・関西万博の運営・開催を通してSDGsに挙げられている社会課題に対し貢献すること、大阪・関西万博に投資された資金が公的・社会的に還元されるというレガシーづくりに繋げること、そしてSDGs達成のみならず、大阪・関西万博をSDGs+beyondへの飛躍の機会とし次世代へのロールモデルとするため、博覧会協会の具体的な取組を取りまとめ策定したものである。

行動計画では、第1章「はじめに」で大阪・関西万博の目的、統治原則、持続可能性に関する方針、行動計画の適用範囲等行動計画の外縁について触れる。第2章では、本計画のよって立つところとなるISO20121と本計画の関係について触れている。そして、第3章において、持続可能性に関しての大阪・関西万博の方針に基づいてこれまで立てた取組方針とこれまでの取組について触れる。第4章では、こうした取組の中で代表的なものとなる大阪・関西万博の全体の指標について記述する。

博覧会協会は、行動計画に基づいて「イベントの持続可能性管理システム(ESMS)」のPDCAサイクルを回し、大阪・関西万博の開催・運営を継続的に改善するとともに、取組状況を取りまとめて行動計画を改定し、公表していく。

目次

第1章 はじめに	1
1.1 大阪・関西万博が目指すもの	1
1.2 博覧会協会の組織運営における統治原則	1
1.3 持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針	2
1.4 持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針と SDGs	4
1.5 持続可能性に配慮した運営	6
1.6 行動計画の適用範囲	8
1.7 大阪・関西万博のこれまでの準備状況	
第2章 ISO20121 に則した持続可能性マネジメントシステム	17
2.1 ISO20121 に則した持続可能性マネジメントシステム	19
第3章 持続可能な万博の運営にむけた指標・取組	22
3.1 People（いのち、ひと、健康、福祉）	23
3.2 Planet（生態系、環境）	30
3.3 Prosperity（サプライチェーン、バリューチェーン）	55
3.4 Peace（平和、公正、インクルーシブネス）	62
3.5 Partnership（協働）	71
第4章 持続可能な大阪・関西万博全体の指標	80
別添1 各実施主体（部署）が実施する取組	93
別添2 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会人権方針	102
別添3 用語集	104
資料編 目次	
1 持続可能性有識者委員会の開催状況	113
2 GRI 内容索引	118
3 職員の状況	126